

平成25年度事務事業評価調書

整理番号	25	枝番	1
評価担当課	都市整備課維持係		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	排雪ダンブ助成事業			
総合計画の位置づけ	有	基本目標	3	自然と環境にやさしく快適で安全なまちづくり
	無	主要施策	14	雪を活かした雪に強いまちづくりの推進
		基本事業	2	市民と協働による雪対策の確立
		実施計画事業	1	市民とともに進める除排雪体制の整備と推進

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	市民の自己負担による排雪の助成			
対象(何を又は誰を)	市民			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	指定業者により実施			
意図(どのような成果を期待しているか)	排雪ダンブ助成を利用することで、雪をなくし冬環境の改善			
事業実施主体	名寄市			
事業実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等 請負 その他()
事業実施期間	始期	H19 年度	終期設定	有 (終期 28 年度) ・ 無
根拠法令・条例等				

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H22	H23	H24	H25見込	目標年度 (28年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1 排雪ダンブ台数計画	台	目標	5,000	5,000	5,000	5,000	37,296
			実績	1,489	5,326	8,378	5,000	
	2	目標						
		実績						
	3	目標						
		実績						
成果指標	1 排雪ダンブ台数計画率	%	目標	100	100	100	100	
			実績	29.8	106.5	167.6	100	
	2 排雪ダンブ台数実績率	目標						
		実績						

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H22決算	H23決算	H24決算	H25予算	平成24年度の事業費内訳
事業費	2,850	10,298	16,184	9,400	一般住宅 2,000円/台 15,640,000 店舗併用住宅 1,000円/台 544,000 計 16,184,000
人件費	1,652	1,671	1,657	1,657	
平均給与額	6,608	6,683	6,629	6,629	
担当職員数	0.25	0.25	0.25	0.25	
総事業費	4,502	11,969	17,841	11,057	
対前年比(%)	—	266	149	62	コストの算出方法
事業コスト	活動指標1 3.0	活動指標2 2.3	活動指標3 2.1	2.2	総事業費(千円)/排雪ダンブ台数実績

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	平成22年度に一般住宅を2,000円/台にし、新たに店舗併用住宅を1,000円/台に定めた。
改善点	指摘事項 <input type="radio"/> 有 () <input checked="" type="radio"/> 無

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 4 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	現在の社会に適合している。
有効性 4 目的を達成するための方法として有効か？	a	降雪のため有効である。
効率性 3 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	b	降雪に応じて利用が変化するため、効率性については判断しがたい。
公平性 3 受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	b	降雪に応じて利用が変化するため、公平性については判断しがたい。
達成度 3 活動指標、成果指標の達成度は？	b	降雪に応じて利用が変化するため、達成度については判断しがたい。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	自助の面から考えると利用されている市民にとっては必要な事業であり、今後も助成金などの見直しも検討したい。	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	

6 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり。

7 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	冬季の快適な生活環境確保のために必要な事業であることから、今後も継続が必要。